



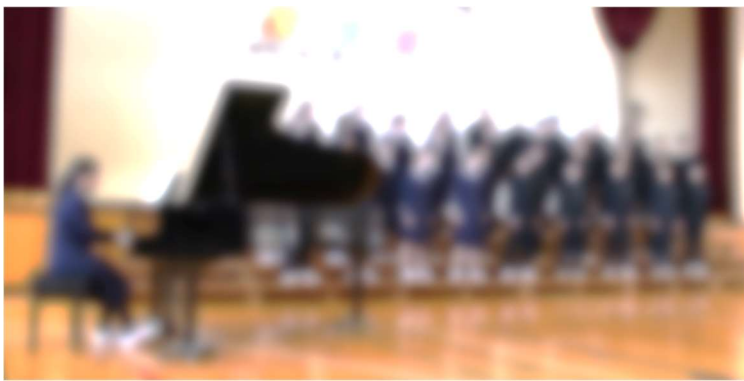
新発田市立  
加治川中学校  
3学年便り  
第52号  
文責 石井  
11月8日発行

## 指揮者・伴奏者・合唱隊を讃えよ！

### いつまでも大切にしていきたいもの

2組 諸橋 葵さん

私は、今年で指揮を振る回数は2回目となりました。昨年は、クラス合唱の指揮を振りましたが、今年は、学年合唱を振ることになりました。学年合唱は、その名のとおり学年なので人数が多くなり、より大変でした。そのなかでも、特に大変だったことが一つあります。それは、学年の練習回数の少なさです。クラス合唱は少ない人数でできますが、学年だとあまり合同練習できなくて、歌う回数もアドバイスする回数も少なくて、とても大変でした。しかし、本番では、とても良い合唱にできました。それは、歌うみんながいたからだと思います。私は緊張しないで振ることも、みんながいたから安心して指揮を振れました。今年最後の桜加祭を振り返って、改めて「信じられる仲間」はとても大切だなと思いました。これからも卒業式まで、今いる友達を大切にしていきたいと思いました。



### 中学校生活最後の伴奏

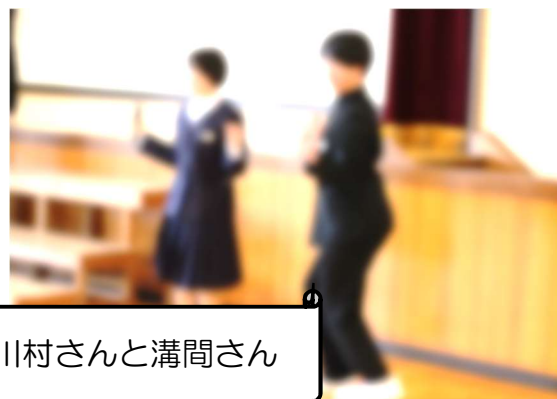
1組 坂場 梨愛さん

私は学年合唱の「大地讃頌」の伴奏をしました。昨年はクラス合唱の伴奏をしたのですが、難易度が高くなっていて、自分にはできるのかとても不安になりました。でも、私が練習でうまくできなかったときに、友達が「すごく良かったよ」「一緒にがんばろうね」と声をかけてくれて不安もなくなり、前向きな気持ちになりました。そして、そのとき、合唱は一人で創るものではなくて、みんなで創っていくものなんだと改めて感じました。また、友達が「こうしたら良いんじゃない？」といろいろなアドバイスをしてくれたので、自分では気づけていなかったところがすぐに分かりました。本番では、自分が練習してきた成果をすべてだしきることができたので良かったです。また、伴奏を通して、友達や支えてくれている人たちの大切さが分かりました。

## 銀河一の合唱！

3年2組 小島 日愛 さん

私は、3年2組の自由曲の指揮者を務めました。前年までとは異なる雰囲気曲で、まさに、「3年2組」と見事に重なっていると感じました。合唱週間前からとても楽しみで、しかたなかったです。そして、本番に向けての練習がスタート。全員が実行委員によって定められる目標を理解していました。それによって合唱力はもちろん、練習の臨む態度までが向上されていきました。学年リハーサルでは、1組の合唱を聴いて圧倒されつつ、学ぶことも多くあったので、1・2組お互いに高め合っているんだと実感しました。そして、ついに、桜加祭本番。センス抜群の曲紹介で一気にリラックス。合唱も史上最高でした。振り付けの場面の笑顔がキラキラで、私ものびのびと指揮を振ることができました。「金賞取れる」とそう確信していました。結果は銀賞でした。「これがいわゆる「悔しい」か!？」って思いました。クラス全員が思ったことでしょう。でも、悔しいと思えるクラスって本当に素敵だし、「悔しい！」で終わるクラスではないと今度こそ確信しました。「銀河一（いち）の合唱」をした3年2組なら絶対！信じよう！アーメン！



アーン！

クラス紹介！川村さんと溝間さん

## ピアノ伴奏をやってみて

2組 須貝 美裕 さん

私は、今回のピアノ伴奏をとて楽しくすることができました。私は3年間、ピアノ伴奏をしました。1・2年生の時は不安や緊張で楽しくすることができませんでした。私が今回楽しく伴奏できたのは、練習過程にあると思います。一日一日目標をみんなで決め、その目標に向かってみんなで頑張りました。はじめの練習では、指揮と合わせるのも難しかったです。ですが、改善点を一日一日確認し練習を行いました。ヘイルホーリークイーンはテンポが速く、強弱がたくさんついている歌でした。強弱を分かりやすくするために、気持ちを込めて弾きました。金賞ではありませんでしたが、みんなと楽しくできてよかったです。1つの目標に向かってみんなと頑張るのはとても良い思い出になりました。

## 「ハレルヤ」のピアノ伴奏をして

3年1組 佐野 有咲 さん

私は、ピアノ伴奏をやってみて、とてもやりがいを感じました。「ハレルヤ」は歌を難しくして、伴奏も難しいので、最初はちゃんと弾けるか心配でした。しかし、みんなで「絶対金賞をとろうね！」と話していたので、私も頑張ろうと思いました。たくさん練習を重ねていくごとに弾けるようになってきました。歌と合わせるときには、途中で演奏が止まったり、歌と合わないときもあつたりしたけれど、だんだん歌と合うようになりました。本番では、とても緊張したけれど、最後まで止まらずに弾くことができました。結果、私たちのクラスは金賞で、私は、伴奏者賞まで戴くことができ、とても嬉しかったです。「ハレルヤ」のピアノ伴奏をして、とても良かったです。最高の思い出になりました。

## 最高の桜加祭に！

1組 石垣 智果 さん

私は今回の合唱コンクールのクラス合唱で指揮を担当させていただき、とても楽しく歌うことができました。指揮をして難しかったことは、私が今まで担当した曲は、ゆったりとした曲でしたが、今年の3年1組の曲は、「ハレルヤ」で、キレがある曲なので、そこを指揮で表現することが難しかったです。合唱練習では、私が改善点を言うとすぐに直して歌ってくれたので嬉しかったです。それに、練習するごとに声が響くようになっていたり、ハモリがきれいになっていたりして、指揮を振るのが楽しかったです。当日では、緊張をしていたのですが、悔いのない桜加祭にしたいと思い、思いっきり楽しもう！と気持ちに変え、笑顔で指揮をすることができました。それをみんなで支え合って練習をしたおかげだと思いました。指揮を担当させていただいてよかったです。

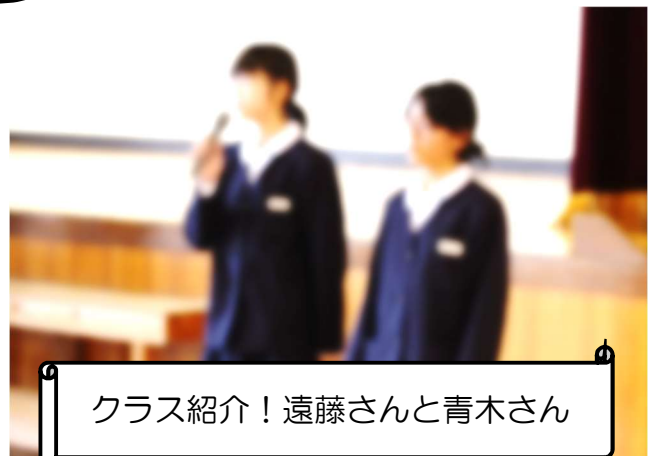


ハ

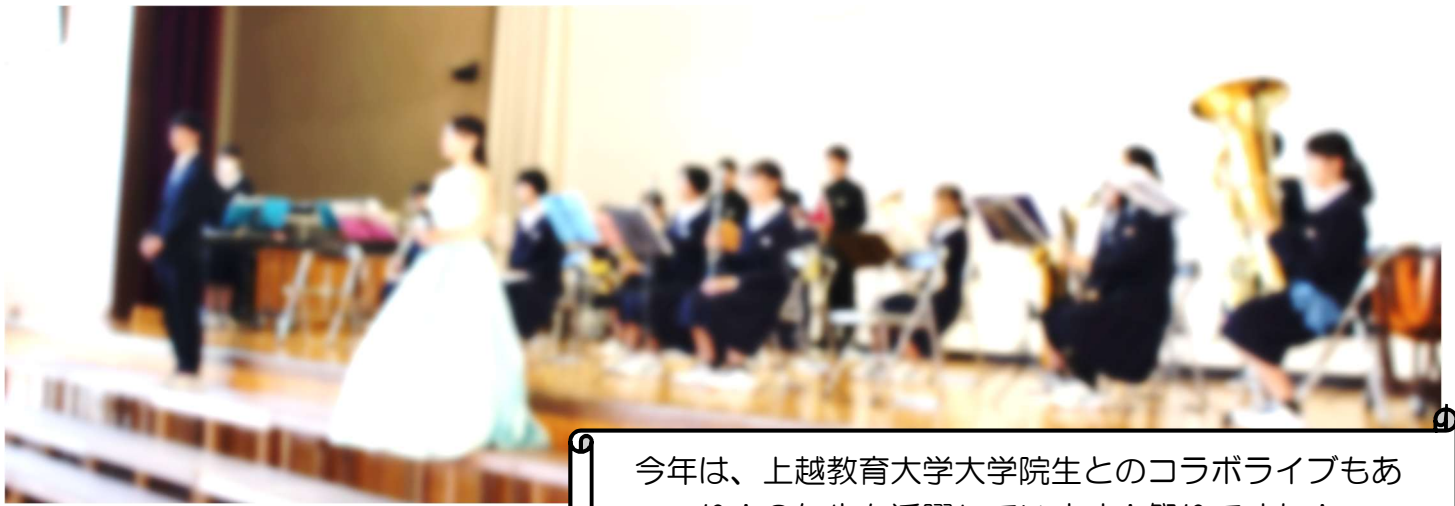
レ

ル

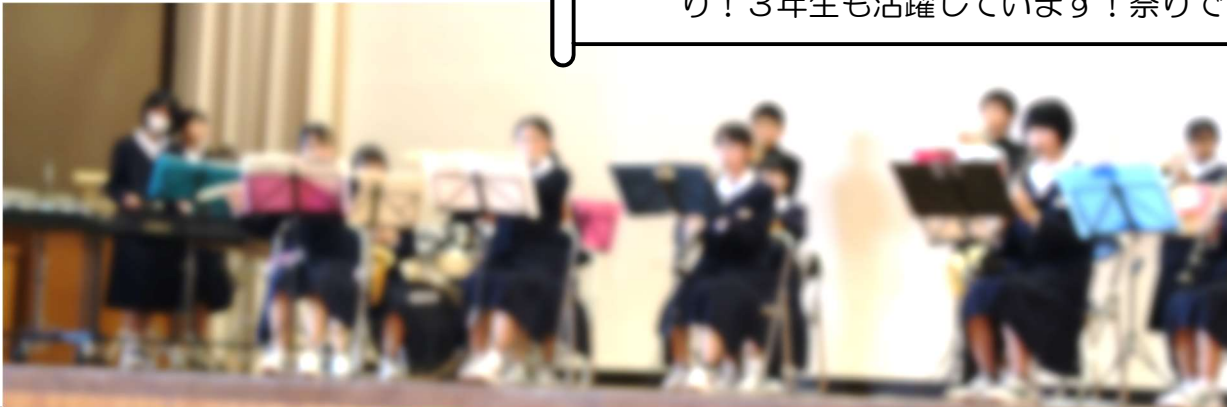
ヤ



クラス紹介！遠藤さんと青木さん



今年は、上越教育大学大学院生とのコラボライブもあり！3年生も活躍しています！祭りですね！



### 三位一体の合唱！

3学年主任 石井 仁

3年生が歌う「大地讃頌」・「Hallelujah」・「hail Holy Queen」の3曲は、本当に素晴らしい合唱となりました。学級の合唱曲を選ぶに当たり、「hail Holy Queen」の希望が重なりました。では、どうやって学級の合唱曲を決めるのか？これが、学年朝会でのクイズ大会の勝敗で決めようとなったのも、この学年のおもしろさでもありました。その結果、1組が「Hallelujah」、2組が「hail Holy Queen」となったわけです。

この3曲の共通点は、「感謝」だと思います。私は、大地への感謝、天への感謝、この世のすべてのものに感謝する曲だと思います。この3曲で、この3学年がひとつになって、合唱の美しさやすばらしさ、ハーモニーの調和がとれたときの喜びやリズムに乗って魂と体で表現する楽しさ、が見事に伝わる合唱と感じました。

そして、「指揮者」・「伴奏者」・「合唱隊」の3つの大切な存在で、1つの素晴らしい合唱にまとめることができました。「指揮者」の指揮は、曲をどのように解釈するかによって、指揮の振り方が変わります。当然、指揮者の振り方によって、合唱隊の歌の表現も変わります。「伴奏者」のピアノ伴奏も、とても難しいでした。それも合唱隊の歌い方に工夫が加わると、演奏も変わる難しい役です。「合唱隊」も、英語やラテン語などの発音、3曲の歌詞の解釈で、強弱やテンポ、各パートにつられないような正しい音程も大切にしながら、体育館を響かせる難しい役でした。

こうしたそれぞれの、3つのことが1つになってこそ、大切な宝物になったわけです。体育祭、桜加祭、どちらも、これからの加治川中学校のめざす姿を創り上げた3年生に心から感謝します。私は、みんなには酷かもしれませんが、あと2週間くらい、みんなの歌声を聴き続けたい、そんな思いでいっぱいです。卒業式には、また素晴らしい歌声を響かせて、未来を切り拓いてほしいものです。ありがとうございました。